



江別市長
三好 昇

Miyoshi
Noboru



江別市議会議長
角田 一

Tsunoda
Hajime

新年のごあいさつ 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、日頃から市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、元号が平成から令和に変わり、新たな時代の節目を迎え、当市においても、人口減少対策を最大の課題と捉えて策定した、第6次総合計画「えべつ未来づくりビジョン」の後半5年間がスタートしました。これまでの総合計画のもと、子育て環境の充実などを進め、年少人口を中心に転入

が転出を上回る社会増が続いております。また、12月に野幌駅南口に完成した宿泊施設と市民交流施設が新たな人の流れを創出し、まちの活気と交流人口のさらなる増加につながるものと期待されます。

さて、今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックイヤーとなります。昨年、陸上十種競技の右代啓祐選手、バドミントン世界選手権女子ダブルス2連覇の松本麻佑選手、ラグビーW杯ではオーストラリア代表チームなど、トップアスリートと

の交流により、たくさんの勇氣と感動をいただきました。今年も、スポーツ合宿誘致を進めるとともに、2月には障がい者スポーツのスペシャリストオリンピックスが市内でも開催されますので、市民の皆さまと一緒に大会を盛り上げ、スポーツの普及促進を図ってまいります。

また、「健康都市宣言」から今年で4年目を迎えます。健康寿命延伸に向けたEーリスムや野菜摂取の推進に加え、働き方にもつながる企業の健康づくりに取り組みます。

喫緊の課題である市立病院の経営改善につきましましては、「市立病院の役割とあり方」を検討する委員会からの提言のもと迅速に対応してまいります。今後におきましても、市の持つ特性や優位性を活かしながら、総合計画で掲げる「協働のまちづくり」、「災害に強いまちづくり」を進めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

新たな年が市民の皆さまにとって希望に満ちた一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

日頃より、市議会の活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

江別市議会は、昨年4月の市議会議員選挙で、定数25名中12名の女性議員が当選し、全国的にも大きな話題となりました。新しい構成となった議会においても、議員それぞれ

れが自らの想いを胸に、豊富な経験と知識を活用し、自らの持てる力を遺憾なく発揮し、市民の負託に応えるべく日々活動をしているところで

懸案とされてきた人口問題も、民間による大型宅地開発に加え、これまで行われてきた子育て環境の充実や住宅支援などの施策の効果も相まって人口増に転じました。

また、複合型大型書店や野幌駅南口でのホテルの開業など、民間投資を誘起する好循環

環がまちづくりに好影響を与えています。

しかしながら、一方で、待機児童対策、公共インフラの整備・更新、防災体制の再構築など、緊急性を要するさまざまな課題が山積していることに加え、市立病院の経営問題が財政に大きな影響をもたらすなど、厳しい環境が続いております。

市議会としても、真摯に職責を果たし、これら諸課題の解決に向け、取り組んでまいります。

現在、市議会では、交渉会派の人数見直しや予算決算常任委員会を設置したほか、議会基本条例に基づき、議会運営の見直しを進めております。

今後、市民の皆さまのご意見やご要望に耳を傾け、情報の共有を進め、より市民に開かれた江別市議会を目指してさまざまな取り組みを進めてまいります。

結びに、新しい年が市民の皆さまにとって、希望に満ちた、幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。

令和元年度 功績を たたえて

永年にわたって江別市の振興と発展に尽力された方や、経済、社会、文化などの興隆に寄与された方の努力と功績をたたえ、表彰を行っています。

今年度は市政功労者2名、貢献賞に3名、特別褒賞に3団体を表彰しました。

〔詳細〕総務部総務課 ☎ 381-1005

市政功労者

平成3年から7期28年にわたり市議会議員を務められ、この間、江別市議会副議長、病院改築調査特別委員会委員長や経済建設常任委員会委員長などを歴任され、市の自治振興に大きく貢献されました。



すずき まゆみ
鈴木 眞由美さん
(72歳)

また、江別市監査委員や江別市社会福祉審議会委員を歴任されるなど、幅広い分野において市勢の発展に尽力されました。

平成元年10月から平成26年9月までの間、合わせて22年の永きにわたり江別市景観委員会委員を務められ、この間、委員長代理、委員長を歴任され、江別市都市景観賞の選考、江別市景観形成基本計画の策定など、江別市の魅力あるまちづくりと、美しい都市景観の創造のために尽力されました。



いばた あきお
井端 明男さん
(70歳)

江別市貢献賞 社会貢献賞(民生福祉)

平成7年から平成28年まで21年の永きにわたり、民生委員・児童委員を務められ、市民の立場に立った助言、支援を行うなど、市の民生福祉の向上に大きく貢献されました。また、江別市民生委員児童委員連絡協議会監事、江別市介護保険事業計画策定等委員会委員を歴任され、幅広い分野で市勢の発展に寄与されました。



おか とし
岡 トシさん
(70歳)

平成13年から平成28年まで15年の永きにわたり、民生委員・児童委員を務められ、市民の立場に立った助言、支援を行うなど、市の民生福祉の向上に大きく貢献されました。また、江別市消防団豊幌分団部長、江別市立学校学校評議員を歴任され、幅広い分野で市勢の発展に寄与されました。



ほりえ やすじ
堀江 安次さん
(70歳)

平成9年から平成28年まで19年の永きにわたり、民生委員・児童委員を務められ、市民の立場に立った助言、支援を行うなど、市の民生福祉の向上に大きく貢献されました。また、江別市芸能赤十字奉仕団会計等を歴任され、市勢の発展に寄与されました。



しもぐち きみよ
下口 公代さん
(70歳)

特別褒章

江別管工事業協同組合

(昭和59年3月6日設立)



組合設立以降、35年にわたり市民のライフラインである上下水道を支えてこられました。また、道路などの美化・清掃奉仕活動や市内保育所の水回り無料点検、緊急貯水槽用上屋テントの市への寄贈、市の「こんにちは赤ちゃん事業」、「親と子の絵本事業」への寄附などの地域貢献を行うほか、北海道胆振東部地震などの災害時には、給水支援活動に尽力されるなど、江別市の災害支援に大きく貢献されています。

江別ホタルの会

(昭和62年6月28日設立)



早苗別川に生息するハイケボタルの生息環境を守ろうと市民有志により結成され、川の水流を調整し、幼虫の餌となるカワニナが繁殖しやすくなる「ホタル護岸工法」の導入を提唱するなど、河川環境づくりに取り組んできました。このほか、幼虫の放流、生育調査、親子向けホタル鑑賞会などホタル増殖と観察体験の双方に力を入れ、平成30年6月に環境保全活動功労者表彰(知事感謝状)、令和元年6月に地域環境保全功労者として環境大臣表彰を受賞されました。

江別市私立幼稚園連合会

(昭和49年2月設立)



市内の私立幼稚園の振興を図るとともに、相互の連携、協力により幼稚園教育の充実、発展に寄与することを目的に結成され、以来45年の永きにわたり、研修会を開催するなど、江別市の幼児教育を支えてこられました。平成27年度の子ども・子育て支援新制度開始以降は、幼児教育のみならず認定こども園への移行や預かり保育の充実を図るなど、市内の保育環境と子育て支援の充実にも大きく貢献されています。